

12月4日(月)～10日(日) 人権週間です。

国際連合は1948年(昭和23年)12月10日、世界における自由、正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するために、世界人権宣言を採択しました。また、1950年(昭和25年)12月4日の国連総会で、12月10日を「人権デー」と決めました。

人権とは、この世に生きる全ての人は、性別、国籍、年齢を問わず生まれながらにして、かけがえのない価値を持っています。同時に、一人ひとりがみな「人間らしく生きる権利」を持っています。この権利は平等であり、決して奪うことはできません。この権利を社会全体で守り、尊重することによって、より多くの人々が平和に、そして自由に暮らせる社会が築かれるのです。この人間のための権利、それが「人権」です。

● 様々な人権問題

- ・生活困窮者
- ・ホームレス
- ・北朝鮮当局による拉致被害者等

● 子ども

- ・子育て機能の低下
- ・地域とのつながりの希薄化
- ・児童虐待の増加

● 部落差別問題(同和問題)

- ・インターネット上の部落差別の深刻化
- ・結婚差別、就職差別、差別発言等

● 性的指向及び性自認

- ・周囲の無理解や偏見による孤独や生きづらさ
- ・性的指向や性自認を理由とする不当な差別

● 犯罪被害者等

- ・身体的被害、財産的被害
- ・うわさや中傷、偏見等による精神的苦痛

● 高齢者

- ・高齢者を取り巻く状況の複雑化
- ・高齢者の権利侵害事象の発生

● 女性

- ・雇用分野における男女間の格差
- ・セクシュアル・ハラスメント
- ・配偶者等からの暴力、ストーカー行為等

● 外国人

- ・ヘイトスピーチの深刻化
- ・住宅や就労などの差別
- ・外国人住民の社会参加支援の必要性

● 障がいのある人

- ・障がいのある人に対する誤解や偏見
- ・障がいのある人に対する差別的な発言

● インターネット

- ・他人への誹謗中傷
- ・偽・誤情報の掲載と拡散

● 感染症患者

- ・感染症に関する知識や理解の不足から生じる感染症患者に対する差別やプライバシーの侵害

身近な人権問題には

様々な課題があります。

ここに紹介しているものは一例です。

福智町の児童・生徒たちの「人権作品」を展示します！

12月4日(月)～15日(金)の期間中に福智町の小・中学校、義務教育学校の児童・生徒たちが作成した、人権作品を下記の施設で展示します。

- ▶ 金田分館 : 金田義務教育学校 前期・後期課程
- ▶ 中央公民館 : 市場小学校 / 上野小学校 / 赤池中学校
- ▶ 方城分館 : 弁城小学校 / 伊方小学校 / 方城中学校

人権作品のお問い合わせ先：生涯学習課 人権同和教育係 ☎ 28-4100



福智の風

▶ 今まで先輩の助言をあてにしていた弱い自分を見つめ直し「この特集は、自分の力で作り抜く」という決意を込め今月号の特集に取り組みました。編集途中、不安に押しつぶされそうになりましたが、夫や仲間を支えられ、無事完成することができました。感謝、感謝です。この経験を糧に、今後も励んできたいと思います(仮屋)

▶ 今回、「文化祭」「飯土井・稲荷神社神幸祭」「花火アートイリュージョン」などたくさんのイベントに取材をさせていただきました。それぞれのイベントに人々の熱き想いがあり、その想いが形となり人々を感想、魅了するのだと思いました。今月号はそうした人々の熱い想いがたくさん詰まった素敵な広報紙となっております。(和佐)

ふくち 福智 2023.12 Vol.09
●福智町で活躍する「仕事人」を紹介！

7世代 CAMP
代表 日高 将博さん



福智町市場で「7世代先まで自然と想いを繋ぐ」をモットーに7世代 CAMP を経営する日高さん。「キャンプ初心者でも楽しめるプランもありますし、飲食の提供やキャンプ道具の貸出なども行っています。このキャンプ場を通じて福智町の魅力を感じていただきたいです」と目を細めました。

四季の歌

心映の投句
俳句・短歌教室の詠歌紹介

※原稿どおりに掲載しています。

落の臺句会

互選

秋風に押され杖の身運びけり
大井 良治
高塔山の河童も見遣る鷹柱
落合 東太
赤煉瓦並ぶ海辺の秋日和
香月 眸
天の川縁薄くして紙ふうせん
木村 誠一
新涼の素足に触れし夜の風
藤井耿之介
神官の禊し島に小鳥来る
山本ひろし
ひと夏のすべてを吐きて水落す
高津 澄子

はな俳句会

岩井竜童選

満月の光たよりの夜道かな
山本ヨシ子
幾たびも満月眺め明日旅に
藤本 鈴子
夜や長しまどろむ猫も大あくび
豊田 保
爽やかと風に声かけウォーキング
馬郡 京子
月夜にも無縁となりし加齢の眼
浜 ちどり
借り物で婆あばの出番運動会
山田 花子

方城句会

自選

今在るを喜びとして年用意
か ず こ
北風が信濃の鬼女の鬢なぶり
藤井耿之介
降る降る降る鳴き声探す虫の闇
婆 ニヤン
高原の風の急かせる草紅葉
眸 女
鴉の声木々一瞬につらぬいて
白石 想史
心友の逆縁の「綾」の行方に手を合わす
檜 幽可

色変へぬ松の威厳や城を守る
西田 真美
年輪を寿ぐ受章文化の日
清原サヨ子
コスモスの風に揺られて気まま旅
桂 啓子
田を終へし一家総出の里祭
岩井 童子
大鍋を囲む幸せ芋煮会
安永より子
鈴の音の風と消えゆく秋遍路
二宮 正人
綾線は神との境秋高し
選 者 吟

鬼杉赤池俳句教室

建部三由紀選